

兵庫県立東洋医学研究所研究活動報

所 長	金 津 和 郎
副 所 長	長 瀬 千 秋
医 長	西 森 婦美子
医 長	松 川 義 純
医 長	松 田 康 平
名誉所長	松 本 克 彦
鍼灸師	曾 炳 文
鍼灸師	石 川 亨
鍼灸師	伊 達 啓太郎
鍼灸師	外 間 宏 昌
鍼灸師	吉 田 剛 典
鍼灸師	谷 村 裕 充
鍼灸師	森 宏 治
薬剤師	和 田 茂 士
薬剤師	西 尾 孝
薬剤師	小早川 純 子
事務員	佐久間 信 子
事務員	豊 川 順 子
事務員	合 田 容 子

◇活動概要

A. 基礎研究

A-1. 生薬成分の抗腫瘍効果に関する研究

自然界の植物の中から数千年の歴史を通じて薬理効果をもつ植物が漢方薬として現在に伝えられてきた。漢方薬の中には数多くの生理活性物質が含まれており、中でもポリフェノール類による生体機能調節については、殺菌作用、女性ホルモン様作用、血圧降下、肝機能向上、脂肪の分解促進・吸収抑制、ストレス抑制等、様々な作用が明らかになっている。ポリフェノール類の中でもフラボノイドはすでに数千種類が報告されているが、強力な抗酸化作用などの生理活性が判明しているものはその1部にしかすぎない。数多くのフラボノイドの中から薬理効果の強いフラボノイドを検出するためには生薬をターゲットとして検討することが極めて有効であろうと考えられる。一方、従来の抗癌剤の多くは、癌細胞だけでなく正常細胞に対しても傷害を与えるため副作用が大きな問題となっている。癌細胞の細胞周期を特異的に制御できる薬物は、正常細胞に対して毒性の少ない抗癌剤として期待できる。この観点から生薬中に含まれるフラボノイドに注目し、フラボノイドが持つ抗腫瘍効果とその細胞周期への影響について研究することにより、フラボノイドによる抗腫瘍活性の作用機序を明らかにし、さらには正常細胞に

対して影響を与えない、癌特異的な抗癌剤の開発を目指す。当研究所が保有するフラボノイドには、未だ生理活性について報告のないものも複数含まれている。これまでの研究の結果、癌細胞に対して有効であり、かつ正常細胞に対して影響を与えないフラボノイドを発見した。さらにその構造類似のフラボノイドも保有しており、今後の検討予定となっている。

A-2. 生薬の血小板凝集抑制成分に関する研究

(1) 蘇木に含まれるブラジリンに血小板凝集抑制作用があることを報告した。さらに、蘇木には、ブラジリン以外の成分にヒト血小板凝集抑制成分あることも報告した。蘇木熱水抽出エキスは、ADPによる血小板凝集の抑制パターンにおいて、一次、二次凝集ともに抑制するが、ブラジリンは、二次凝集のみを抑制する。今回得た成分は、一次、二次凝集ともに抑制した。このことは、蘇木に、血小板凝集抑制機序の異なる成分が存在していることであり、大変興味深いことと思われる。その成分について現在検討中である。

(2) 活血生薬・紅花には、血小板凝集抑制作用があり、その成分の一つがアデノシンであることは報告されている。しかし、アデノシンの含有量にバラツキがあるのかかわらず、血小板凝集抑制作用があることから、他の活性成分の存在が考えられる。そこで、その成分について検討中である。

B. 教育活動

伝統医学学習講座

平成14年7月から10月にかけて一般市民を対象に伝統医学講座を開講した。

◇原 著

- 1) 長瀬千秋：変形性膝関節症に対する東洋医学的治療，関節外科，メジカルビュー社，21(2):77～80，2002
- 2) 長瀬千秋：地黄剤，入門漢方医学，南江堂:113～115，2002
- 3) 西森(佐藤) 婦美子：茯苓と三焦通利，季刊『中医臨床』，23(3):24～27，2002
- 4) 西森(佐藤) 婦美子：気血水から見た冷えと診断のポイント，阪神女医会ネットの会JOY NET 座談会集 女性の冷えと漢方，2002
- 5) 谷村裕充：「痛みについて 鍼灸治療の効果」，第10回西日本理学療法研究会誌:5～21，

2002

◇総説・その他

- 1) 谷村裕充, 曾 炳文: 「第 51 回全日本鍼灸学会学術大会 (つくば大会) 印象記」, 鍼灸医学, 52(5):2~3, 2002
- 2) 曾 炳文: 「第 49 回全日本鍼灸学会学術大会準備活動の感想」, 全日本鍼灸学会兵庫地方会 20 周年記念誌: 70~73, 2002
- 3) 谷村裕充: 「第 49 回全日本鍼灸学会学術大会事務局回顧録」, 全日本鍼灸学会兵庫地方会 20 周年記念誌: 76~81, 2002
- 4) 谷村裕充: 「鍼灸治療の基礎と臨床」, 全日本鍼灸学会兵庫地方会 20 周年記念誌: 83~84, 2002
- 5) 西森 (佐藤) 婦美子: 川の向こうのフランクロイドライト, 漢方研究, 368: 12, 2002
- 6) 伊達啓太郎: 「兵庫大会開催準備の思い出」, 全日本鍼灸学会兵庫地方会 20 周年記念誌: 73~75, 2002

◇学会発表

- 1) 西森 (佐藤) 婦美子: 五苓散が奏効した 1 症例, 平成 14 年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
- 2) 松田康平: 滋腎通耳湯を使用したメニエル病の一例, 平成 14 年度日本東洋医学会関西支部例会, 京都, 2002. 10
- 3) 小早川純子, 西森 (佐藤) 婦美子, 松川義純: Eupatorin のヒト口腔類表皮癌細胞に対する G2-M 期停止効果の検討, 第 12 回日本サイトメトリー学会学術集会, 愛知, 2002. 8

◇講演・その他

- 1) 長瀬千秋: 東洋医学による自己診断, 伝統医学学習講座 兵庫県ヒューマンケア研究機構, 神戸, 2002. 10

- 2) 長瀬千秋: 膠原病の漢方治療, 伊丹保健所, 伊丹, 2002. 9
- 3) 長瀬千秋: 膠原病の漢方治療, 川西保健所, 川西, 2002. 12
- 4) 長瀬千秋: 漢方薬の効用, 財団法人生きがい創造協会いなみの学園 老人大学, 加古川, 2002. 12
- 5) 西森 (佐藤) 婦美子: 三焦通利について-症例呈示を中心に-東京中医学研究会 2 月例会講演, 東京, 2002. 2
- 6) 西森 (佐藤) 婦美子: 漢方基礎講座 気血水について 小太郎漢方基礎講座 講演, 福岡, 2002. 11
- 7) 西森 (佐藤) 婦美子: 垣根を越えた伝統医学フォーラム 司会・進行, 愛知, 2002. 6
- 8) 西森 (佐藤) 婦美子: アンチエイジングを考える 阪神女医会ネットの会 JOY NET 座談会・講演, 兵庫, 2002. 11
- 9) 谷村裕充: 「痛みのメカニズム」, 2002(社) 全国病院理学療法協会兵庫県支部, 神戸, 2002. 1
- 10) 外間昌宏, 吉田剛典: 伝統医学学習講座, 第 9 回「鍼灸に関する基本的な知識を学ぶ」, 神戸, 2002. 9
- 11) 谷村裕充: 「痛みについて 鍼灸治療の効果」, 西日本理学療法研究会, 京都, 2002. 9
- 12) 石川亨, 谷村裕充: 伝統医学学習講座, 第 12 回「鍼灸による健康法を実際に体験する」, 神戸, 2002. 10
- 13) 西尾 孝: 伝統医学学習講座, 第 4 回・漢方薬の知識, 神戸, 2002. 8
- 14) 西尾 孝: 伝統医学学習講座, 第 8 回・健康茶の知識と体験, 神戸, 2001. 9
- 15) 西尾 孝: 淡路すこやか大学いざなぎ学園, 第 11 回, くすりと健康について, 淡路, 2001. 10